

福岡市提出資料



福岡市
グローバル創業・雇用創出特区



福岡市グローバル創業・雇用創出特区

国家戦略特区をフル活用し、日本の成長を牽引！



スタートアップ支援

- スタートアップ法人減税の活用やビザの規制緩和



開業率7年連続 政令市 **1**位

都心部の機能強化

- 「航空法の高さ制限」の緩和



2030年代までに
約**120**棟 建替え予定

市税収入は過去最高を更新中！

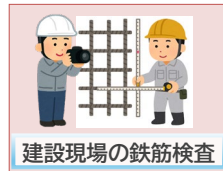
令和7年度の取り組み

新規提案 **15**件 **DX**や**脱炭素**をはじめ
幅広い分野に渡る提案を実施！

● GX推進



● DX推進



● スタートアップ支援



● 新技術活用



提案実現 **12**件 **福岡発、日本のアップデート！**

- マイナンバーカードの利便性向上
- 再生可能エネルギーの普及促進
- 航行の安全性向上



事業活用 **7**件

- 退職特例（新規事業者認定）等

スタートアップの成長を後押し！

忙しい時にも洗濯物を預けられるサービスの実現へ！

現状 ○ コインランドリーは梅雨時期や休日などに利用が集中するため、店舗に行っても空いていない場合があるほか、洗濯から乾燥まで長時間待つ必要がある。

課題 ○ 利用者は洗濯物を預けられると便利だが、店舗スタッフは、既存の設備で利用者の代わりに洗濯物の投入・取出し等ができない。

そこで

提案 一定の要件(※)を満たす場合に限り、既存のコインランドリー設備を用い、店舗スタッフが洗濯物の投入・取出し等をできることとする。

※ (例) 衣類の個別管理やドラム内の殺菌消毒等

(クリーニング業法等の緩和)

現状



せっかく来たのに空いてない。
そんなに時間ないのに…

Coin Laundry



代わりに洗濯したいけど
できない…



提案

今ある設備を使って代わりに洗濯するサービスが可能に！



Coin Laundry



いつでも
利用できる！



EV車が走る際に回収した電気を再エネと扱い環境に優しい社会の実現を後押し！

- 現状**
- EV車は減速する際に、本来は熱として失われるエネルギーを電力として回収できる。
 - 一方で、再生可能エネルギーを普及させる国の支援策として、個人や会社で作った電気を電力会社などに売ることができる制度（FIP・FIT）がある。

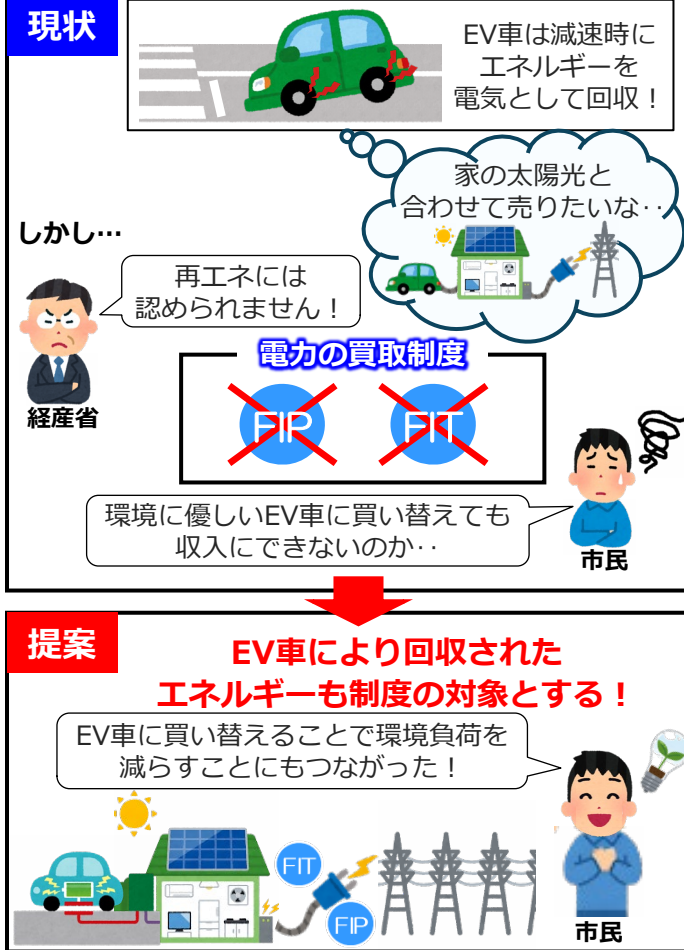
- 課題**
- しかし、このEV車が回収した電力は再エネ電力と認められず、FIP・FITの対象として、売ることができない。

そこで

提案 一定の要件（※）のもと、EV車の回収電力をFIP・FIT制度の対象とする。

※既にFIT・FIP制度を活用している事業者や家庭が追加でEV車の回収電力を販売する場合

（再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法の緩和）



虫除けスプレー等を必要な時に買いやすく！

現状 ○ 夏場の虫除けスプレーなどは、一時的に多くの方が買いに来るため売り切れになりやすく、必要な時に手に入らないことがある。

課題 ○ こうした商品の一部は、消防法において店に置ける量が限られている。
○ 小売店は、在庫量を増やそうとすると、設備等の整備まで求められる。



提案 安全対策(※)をすることで、
店舗に保管する量を柔軟に調整できることとする。

※耐火性を有する収納箱等での保管 など

(消防法等の緩和)



農業と発電を両立し、耕作放棄地等の解消へ！

- 現状**
- 農地の上に**太陽光パネルを設置し**、その下で**作物栽培する**営農型太陽光発電がある。
 - この方法は、耕作放棄地等における災害や鳥獣被害のリスクの解消にも繋がる。

- 課題**
- 太陽光パネル設置に必要な一時転用許可期間は、**最長10年**である。許可期間の短さにより、**長期融資が受けにくく、導入が進みにくい。**

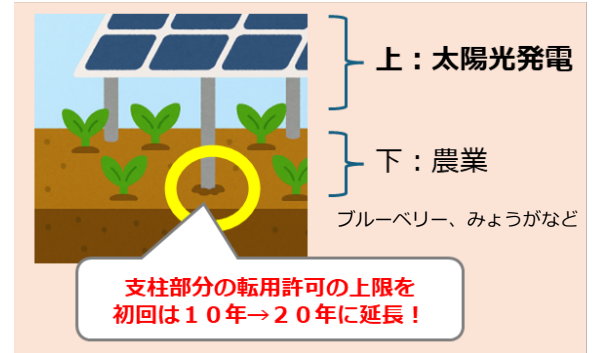


- 提案** 一定の要件(※)を満たす場合に限り、**初回許可期間を最長20年へ延長**できることとする。

※一定の適切な営農実績を有すること など

(農地法の緩和)

提案 営農型太陽光発電 ※イメージ



地域住民

OK!
雑草や鳥獣被害が心配だったけど、きれいに活用されて安心！

長く使える見通しが立った！
農業を守りながら
電気も作れる！



農家 農業法人等

同じ農地で同じ作業に使うドローンの手続負担を軽減！

- 現状**
- 農業では、担い手不足や高齢化が進む中、農薬散布などの効率化を図るドローンの活用が期待されている。
 - 飛行にあたり国の承認を得る必要があり、まとめて承認を受ける包括申請でも、**期間が最長1年とされている。**

- 課題**
- 農業用ドローンは同じ農地で同じ作業に使うケースが多いにも関わらず、**毎年申請が必要**であり、**更新切れのリスクや農業者の事務負担が大きい。**

そこで

- 提案** **農業用ドローンの飛行に係る許可・承認期間について、「最長3年間」へ延長可能とする。**

(無人航空機の飛行に関する許可・承認の審査要領の緩和)

現状

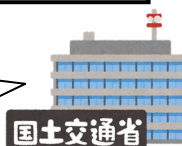
ドローンを活用した農薬散布



人手不足の解消

しかし…

許可・承認は
最長1年まで！



国土交通省

そのため…



農家

明日使いたかったのに…
期限切れ…

同じような手続きをまた
しないといけないのか！



農家

提案

包括申請を3年に延長！

毎年の申請の手間がなくなって
負担が軽減！



農家

天候や故障で機体が変わっても、必要な時にドローンが使える！

- 現状**
- 農業用ドローンは、使う時期が限られるため、コストの観点でレンタル利用が注目されている。
 - ドローンを使って農薬や肥料を散布する場合、**使う機体の登録記号を指定して事前に国の承認を受ける必要がある。**

- 課題**
- 農作物の生育状況や急な天候で作業日を変えると、承認を受けた機体が借りられないことがある。
 - しかし、代わりに別の機体を使用するには再度申請が必要で、**レンタルが使いづらく、ドローンの活用が進まない。**

そこで

- 提案** **同じカテゴリー** (※1) **の機体を集約する登録記号を発行し、**
一定の要件 (※2) を満たす申請に限り使用できることとする。

※1 同一製造者のドローン など ※2 農業用途で、自己の管理する敷地内で使用する場合

(航空法等の緩和)

現状

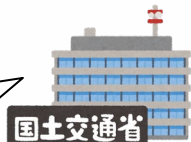
便利なレンタルでドローンを使おう！



農家

しかし…

農薬散布には事前申請が必要！
使う機体の登録記号の入力を！



国土交通省

そのため…



レンタル会社

来週からは別の人が使うので、
延長するなら他の機体で！

故障したので
機体を更新します！



農家

また申請やり直し…
レンタル、使いにくいな…

提案

**包括的な登録番号を発行し、
申請手続きを簡素化！**

レンタルで利用しやすくなった！
積極的にドローンを活用しよう！



農家

福岡市提案により全国ルールとして明確化

▶ 建築現場の検査業務が効率化！

- ビル等の建築にあたって、鉄筋の検査を手作業により計測
することが現場の大きな負担になっていた。



- 3Dスキャンで取得したデジタルデータの活用が可能
であることが明確化！

▼ 手作業による検査・記録



▼ 新たな検査システム



【事業者の声】

- 膨大な写真等の管理負担が大きく削減！
- 安全性の高い建築物の実現に向けて、検査精度が向上します！

新たに2社のスタートアップを追加！

農業分野

令和7年12月設立

サクモツ

株式会社SACMOT s



- ・地球環境に配慮した次世代農業資材の開発
- ・農作物や食品に関する解析サービス

IoT分野

令和7年6月設立

オーラノクス テクノロジズ

Ouranox Technologies株式会社



- ・超低軌道（高度300km以下）における衛星の研究開発及び推進機の開発

スタートアップの課題である

「質の高い人材の確保」を支援！